

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>みはらし亭</b> MIHARASHI-TEI ONOMICHI GUEST HOUSE			
<b>建築用途</b>	大分類 宿泊	小分類 ゲストハウス		
<b>改修設計者</b>	NPO尾道空き家再生プロジェクト			<a href="#">URL</a>
<b>所在地</b>	広島県尾道市東土堂町15-7			<a href="#">Google Map</a>
<b>改修年</b>	2016年			After 尾道市街を見渡す外観は全て窓になっている。
<b>建築規模</b>				撮影者提供者 撮影: 桐原武志 2022年
<b>掲載書誌</b>			<b>概要 after</b> 尾道の「茶園」文化を伝える重要な建物だが、廃業し空き家状態になっていた旅館「みはらし亭」をゲストハウス「みはらし亭」として再生	
<b>賞・選定</b>	登録有形文化財			
<b>資料・その他</b>				<a href="#">URL</a>
<b>■Before</b> <b>建築名称</b>	<b>別荘→旅館「みはらし亭」</b>		<b>概要 before</b> 尾道三山の山麓、千光寺の境内の見晴らしのいい場所に建てられた別荘。戦後一時期旅館として活用された後、30年近く空き家になっていた。	
<b>建築用途</b>	大分類 住居	小分類 別荘		
<b>■写真</b> Before 旅館(みはらし亭)時代の外観	After 千光寺参道側のエントランス外観。		After 客室内観。窓の先には尾道の市街が広がる	
				
<b>撮影者提供者</b> 提供: 尾道学研究会	<b>撮影者提供者</b> 撮影: 桐原武志 2022年		<b>撮影者提供者</b> 撮影: 桐原武志 2022年	
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 用途変更、補強、文化・産業遺産	<b>内容</b> <渡邊義孝氏(NPO尾道空き家再生プロジェクト)より> …街中からいつも見えている尾道の「顔」のような建物ですが、老朽化と雨漏りが進み、ひどい状態のままで空き家になり放置されていたものです。これを「絶景を独り占めできるゲストハウス」として再生する、というのがこの計画です。工事を始める前に、この建物も国の登録有形文化財にしました。 空き家の多くは山手の斜面地に集中していて、荷物の上げ下ろしひとつとっても、マンパワーに依存せざるをえません。みはらし亭はまさにその典型でした。一方、実際に体を動かして家を直してみたいというニーズが高まっているという面もあります。そこで「空き家再生夏合宿」と題して全国からボランティアを募り、1週間寝泊まりしてもらいながらひとつの空き家を直していくというイベントをこの建物でも実施しました。3回にわたり、全国から延70名以上が参加してくれました。 工事には3000万円近い工事費がかかりました。その費用調達のために、はじめてクラウドファンディングに挑戦し、目標額200万円に対して400万円の支援を集めることができました。……		
<b>■備考</b>	NPO尾道空き家再生プロジェクト(以降空きP)とは…尾道の斜面地に多く存在する資産価値が低い空き家の再生を目指し現理事の豊田雅子氏を中心となり発足したのが空きPです。その活動はおおくの市民を巻き込み、空き家バンク事業の運営、空き家を宿泊施設に改修してのゲストハウス運営、壊さない不動産「尾道瀬戸際不動産」の運営、各種イベントの開催など行っています。			
<b>■作成者氏名/所属</b>	桐原武志/Free JIA再生部会		<b>作成協力</b> NPO尾道空き家再生プロジェクト	